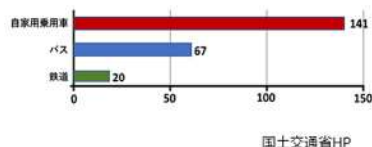


本学では通学的手段としてマイカーを選択する学生の割合が、他大学と比較しても非常に高く、キャンパス内で交通事故が発生したり周辺の交通渋滞の原因となったりしています。
通学的手段としてマイカーを購入する前に、下記の情報もご覧いただき、便利になった公共交通機関の利用を検討してみませんか？

マイカー通学が環境に与える影響は？

マイカー通学によりCO2が排出されます。
1人を1km運ぶのに排出するCO2は、**自家用乗用車**が**バスの2倍以上**とされています。

1人を1km運ぶのに排出するCO2量(H28)



事故のリスクが増加！

マイカーを持つということは新たな事故のリスクが発生するという。さらに**事故のリスクは自身のみならず他人にも及ぶことがあります。**

マイカー通学が交通渋滞の原因に？

沖縄県内で発生する渋滞は社会問題となっており、**通学にバスを利用することで、渋滞の発生を抑えることができる**と言われています。
また、交通渋滞による1人あたりの**年間損失時間は61時間**に及ぶとも言われており、公共交通利用が時間の有効活用にもつながるかもしれません。

[車種別死亡事故件数(H27)]



マイカー所有は意外に割高？

仮に中古車を購入してマイカー通学をするとして、その購入費や駐車場代、ガソリン代など維持管理費を含めて考えれば、通学のために住居を探す場合などにバス路線沿線に居住して**バス通学するほうが経済的負担も少なく済みます。**

沖縄の公共交通もどんどん便利に♪

モノレールの延伸、バス路線の充実、シェアサイクルの普及など沖縄の公共交通もどんどん便利になってきています。**バス路線沿線への居住も積極的に検討されてはいかがでしょうか？**

こちらもチェック！



琉大北口駐車場
時刻表など



HELLO
CYCLING



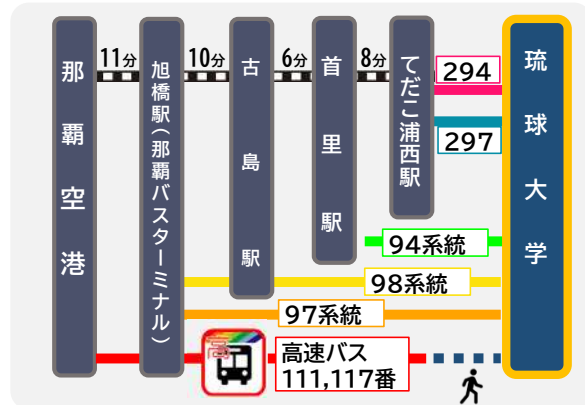
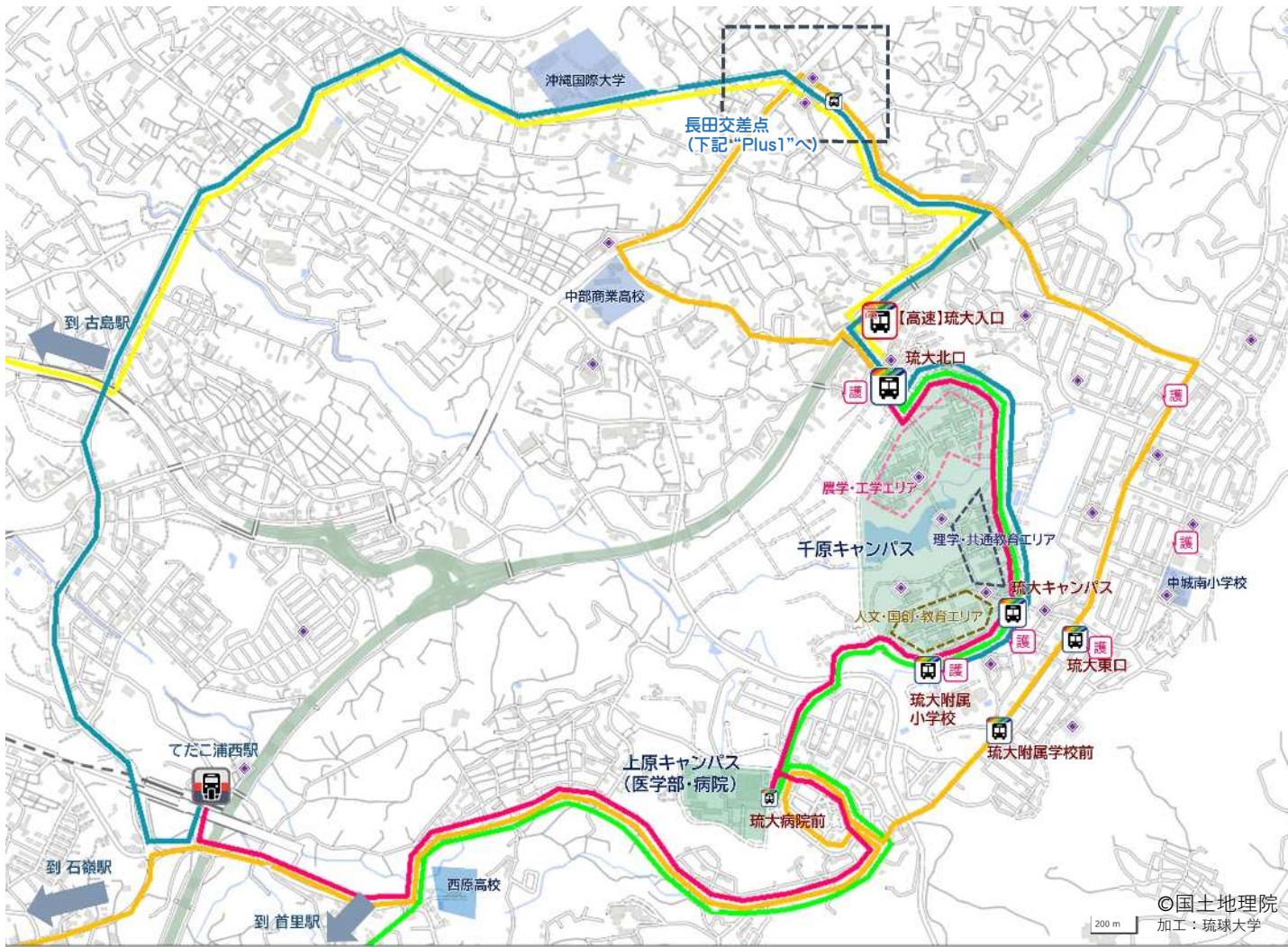
エコ通学のススメ

琉球大学合格

おめでとうございます！

琉球大学周辺の路線バス・コミュニティバス・シェアサイクルポート ~みんなで創るエコロジカル・キャンパス~

※各種料金・路線などは2022年1月時点のものです。ご利用の前には最新の情報を確認してください。



工学・農学エリアへのおすすめアクセス 学寮もコチラ

「琉大北口」降車、徒歩3分 **294 297 94 98 97**
！注意 97系統は東口⇄北口間を、大回り運行するので着時間に注意

理学・共通エリアへのおすすめアクセス

「琉大キャンパス」降車、徒歩3分 **294 297 94**
 「琉大東口」降車、徒歩5分 **97**

人文・国創・教育エリアへのおすすめアクセス

「琉大附属小学校」降車、徒歩3分 **294 297 94**
 「琉大附属学校前」降車、徒歩5分 **97**

上原キャンパス(医学部)へのおすすめアクセス

「琉大病院前」降車、徒歩3分 **294 97 94**



Plus1 長田交差点の利用でより便利に

宜野湾市長田交差点が、バス乗り継ぎに便利です。97, 98, 297系統の「長田」停留所(琉球バス/那覇バス)から交差点向けに5分程歩くと、沖縄バス系統の「長田」停留所に行くことができます。この2停留所合わせると那覇バスターミナル方面に一日平均で約150本のバスがでており、市街地へのアクセスが抜群です。また、付近にシェアサイクルステーションもあります！

- 琉大付近バス停
- 高速バス停
- モノレール駅

◆マークはサイクルステーション！

電動アシスト自転車をレンタルできます。返却はどのステーションでもOK！
 料金：¥80/15分 ¥1,000/12時間

- 294** たごこ琉大快速…西原経由 たごこ浦西駅行
- 297** キャンパスバス…長田経由 たごこ浦西駅行
- 94** 首里駅琉大 快速線…西原経由 首里駅行
- 98** 琉大線(古島方面)…長田・おもろまち・県庁 豊崎行
- 97** 琉大線(石嶺方面)…首里・国際通り経由 旭橋駅行



コミュニティバス(護佐丸バス)について

中城村運営コミュニティバスで、一律200円で、中城村内や普天間方面へアクセスすることができます。
 マップ内の護マーク周辺が停留所です。





SDGs の実現に向けた公共交通の利用促進

～公共交通の利用を通じて SDGs の実現に貢献～

沖縄県内では、通勤・通学など、日常の移動手段をマイカーに依存する傾向が強く、朝夕を中心に交通渋滞が発生しています。一方、バスやモノレールなどの公共交通は、コロナ禍により危機的な経営状況です。これにより公共交通が衰退すれば、マイカーを持たない人々の交通へのアクセスを阻害し、「誰ひとり取り残さない」というSDGs（持続可能な開発目標）の理念に反する状況をもたらすこととなります。

公共交通を利用することは、以下のとおりSDGsに掲げられている様々な目標の実現に貢献することとなります。企業や自治体、団体、学校、そして県民の皆さん、是非公共交通を積極的に利用しましょう！



Point① みんなで支えよう！守ろう！公共交通

目標 11 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する

- ◆TARGET11.2として、「2030年までに、脆弱な立場にある人々、女性、子ども、障がい者及び高齢者のニーズに特に配慮し、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善により、すべての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する」ことが求められています。
- ◆SDGsのターゲットの一つとして具体的に公共交通機関の拡大などに言及するものであり、SDGsの中で公共交通との関係で最も重要です。“持続的な公共交通システム”にて「誰一人残さない」ことを念頭におきながら、マイカーを利用できない高齢者などの移動手段をみんなで支え、守っていくためにも公共交通の利用が必要です。

11 住み続けられるまちづくりを



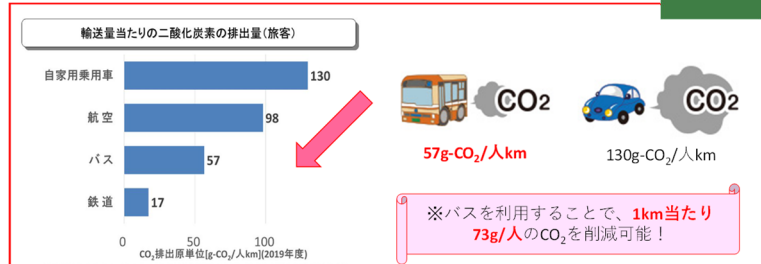
TARGET 11.2



Point② 公共交通は地球に優しい！

目標 13 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

- ◆マイカー利用はバスの約2.5倍のCO₂を排出するため※、地球温暖化対策の観点からも、過度なマイカー依存からの脱却によるCO₂排出量の抑制が必要です。
- ◆沖縄は島嶼県であることから海面上昇やサンゴ礁の消失など地球温暖化の影響を非常に受けやすく、特に温暖化対策が重要です。



※出典:温室効果ガスインベントリオフィス:「日本の温室効果ガス排出量データ」、国土交通省:「自動車輸送統計」、「内航船舶輸送統計」、「鉄道輸送統計」より

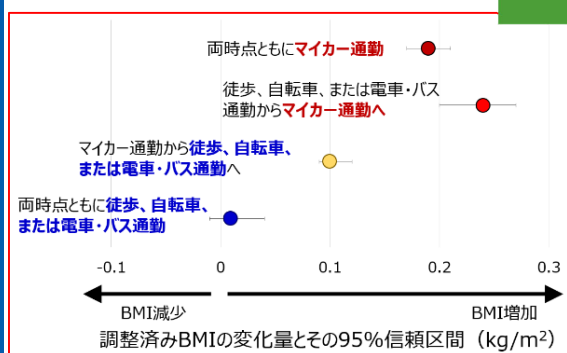
13 気候変動に具体的な対策を



Point③ 公共交通は体に優しい！

目標 3 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

- ◆マイカー通勤から、徒歩や自転車、または公共交通機関に切りかえることで体重増加を抑えられることが研究結果※から得られています。
- ◆肥満や成人期の体重増加によりがん、心血管疾患、糖尿病などの生活習慣病のリスクが高まることを踏まえると、本結果より、公共交通の利用は働く人の疾病予防にも寄与していることが示唆されています。
- ◆エコ通勤を推進している企業では従業員の健康増進面で一定の成果が上がっており、企業の医療保険費用の削減などにもつながります。



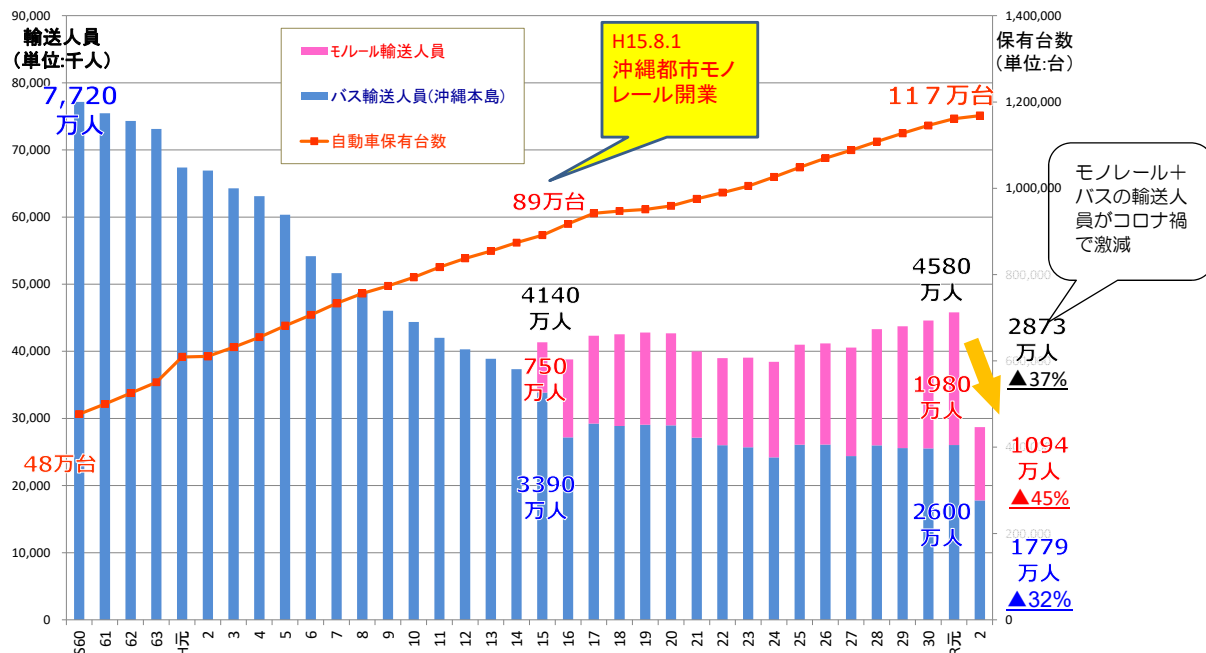
※5年間のBMIの変化量より。出典:国立研究開発法人 国立国際医療研究センター調査結果より

3 すべての人に健康と福祉を



SDGs の実現を阻害する県内公共交通の危機的状況

沖縄では、従来からの過度なマイカー依存に加え、コロナ禍により公共交通機関の輸送人員などが激減しており、危機的な経営状況です。公共交通事業者の経営状況が改善されず、路線廃止などにより公共交通がなくなってしまえば、「おじー・おばー」をはじめ、マイカーを利用できない人々の移動が困難となり、SDGs の目標 11 などの目標が達成できず、「誰一人取り残さない」という SDGs の理念にも反する状況に陥ります。また、CO₂ 排出量の増加により、地球環境にも悪影響を及ぼすことになります。



<SDGs の実現に向けた県内公共交通の利用促進に向けて>

乗ってみよう！誰もが1年に1回は公共交通を

- ◆誰もが利用できる身近で便利な移動手段である公共交通を将来も選択肢として残すため、みんなで公共交通を支え、守っていきましょう。
- ◆普段は公共交通を利用しない人も、誰もが1年に1回は公共交通を利用してみましょう。そして意外と便利だということが分かったら、もっと利用しましょう。
- ◆企業などは、公共交通に関する必要な情報を従業員などに提供し、利用を促進しましょう。公共交通に関する情報サイトも活用しましょう。



- ◆便利な公共交通のHPはこちらまで
 【のりものNAVI Okinawa】
 本島路線バス&ゆいレール総合案内システム
<https://www.busnavi-okinawa.com/top>
 【バスマップ沖縄】
 県内の公共交通情報（マップ・時刻表）
<http://www.kotsu-okinawa.org/>



取り組もう！公共交通などを利用したエコ通勤

- ◆『エコ通勤』とは、クルマから、環境に優しいエコな通勤手段に転換することです。渋滞解消や公共交通の振興、社員の健康向上なども期待される、持続的な社会につながる取組です。
- ◆マイカー一辺倒での移動ではなく、公共交通利用に加え、パーク&ライド、相乗り通勤、自転車での通勤など手段は様々です。
- ◆県内企業でも、“通勤手当の全額支給”、“通勤手当の優遇”、“時差出勤”など公共交通の利用促進の支援が行われています。
- ◆企業などでは、「エコ通勤優良事業者認証」の取得を検討するなど、エコ通勤への取組をはじめましょう。



- 「エコ通勤優良事業者認証制度」とは・・・
- エコ通勤に取り組んでいると認められる「事業所」を「公的」に認証します。
- 認証・登録にかかる費用は無料
- 認証制度ホームページ等で公表
- 優秀な取組みは国土交通大臣賞で表彰
- 2009年6月創設。
2022年1月末現在756事業所が登録

公共交通利用推進等マネジメント協議会
 (認証制度事務局：国土交通省、(公財)交通エコロジー・モビリティ財団)

- ◆認証制度の詳細はこちらまで
 【(公財)交通エコロジー・モビリティ財団】
http://www.ecomo.or.jp/environment/eccommuters/eccommuters_top.html
 【国土交通省総合政策局地域交通課】
https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000073.html

